


2023年10月31日

Vol. 125



みみ
んん

題字 谷川俊太郎さん 

節目を迎え、ともに考えたいこと 常務理事・事務局長 青木ユカリ

語り継ぐ人が少なくなっているかもしれませんが、11月1日はせんだい・みやぎNPOセンターが任意団体として発足した日です。その翌年（1998年）の12月1日には、NPO法（特定非営利活動促進法）が施行されました。NPO法は、「市民が行う自由な社会貢献活動」の健全な発展の促進をもって公益の増進に寄与するとし、草の根の市民活動団体に法人格と税制優遇を付与するだけでなく、「市民による公益」という考え方を広げる上で重要な役割を果たしたといえます。

当団体は99年7月1日に法人化し、その前日には、全国で初めてとなる公設民営の市民活動支援施設「仙台市市民活動サポートセンター」が開館しました。来年は、法人も施設もともに25年の節目を迎えることになります。任意団体設立後にスタッフとなった私ですが、右も左もわからぬまま歩き始め、目の前のことに邁進してきた日々を思い出します。また、8月におこなった「市民と社会を考える2Days」では久しぶりにお会いする方も多く、さまざまな視点でこの期間のことを振り返る機会となりました。

社会情勢もめまぐるしく変化する中、東日本大震災から12年が経過し、これからわたしたちはどう歩んで

いくのか。多様な主体による連携・協働に期待が高まるなか、仙台・宮城の地でどのようなあり方が考えられるのか。会員のみなさんや関わりのあるみなさんとともに考えていきたいです。



▲組織を樹に見立てたとき、これまでわたしたちはどれだけ大地に根を張れたのか。

2023年度第3回みやぎ災害対応円卓会議（みやまる）勉強会 「クロスロードゲームを用いて宮城の災害対応を学ぶ」

日時：2023年12月6日（水）18:30～20:30

会場：みやぎNPOプラザ 第2会議室

オンライン併用

参加費：無料

主催：みやぎ災害対応円卓会議

事務局：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター

下のQRコードからお申込みください。内容詳細も確認できます。



報告 ● 市民と社会のこれからを考える2Days

「わたしたちはどう生きるか～加藤哲夫さんの宿題を考える～」

●改めて考える機会を

当法人の元代表理事で、長年仙台をベースにNPOや環境、社会活動のリーダーとして活躍された加藤哲夫さんが亡くなったのは、2011年8月26日のこと。それから12年が経ちました。



▲「どーもー、加藤でーす」と声が聞こえてきそうな写真

十三回忌の節目に仙台に集い、加藤さんが取り組まれたこと、書き残されたもの、話していたことなどをもち寄って、加藤さんの「宿題」を確認し私たちが取り組んでいくための視点を得ようと、有志「カタツムの宿題を考える会」により「市民と社会のこれからを考える2Days『私たちはどう生きるか？～加藤哲夫さんの宿題を考える～』」が企画・開催され、当法人も協力しました。8月25日・26日の2日間、3つのセッションを実施。のべ152人にご参加いただきました。



▲セッション3の様子。3つすべてに参加した方も多数いました



▲参加者同士で感想を話し合う様子

●温かく和やかな雰囲気の中から

参加者の中には「加藤さんにお会いしたことはない」という30代ぐらいの方もおられました。加藤さんとながりのあった人だけでなく、加藤さんを知らない人にも参加してほしいと思っていただけに、ともに宿題に取り組んでいけることを嬉しく思います。

登壇者から語られるエピソードに、懐かしそうに目を細める方や「そうなの!？」と驚く方。たびたび笑いも起こりました。参加者同士、近くの席の方と話し合う時間もあり、温かく和やかな雰囲気ながら、それぞれが宿題に対する視点や決意を持ち帰るといった密かな熱さもありました。

今後、セッションの内容を編集し出版する予定です。準備が整いましたら、お知らせいたします。



▲セッション2の中で紹介された加藤さんの自筆メモ

発行 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

住所：〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4階

TEL：022-264-1281

FAX：022-264-1209

E-mail：minmin@minmin.org

HP：https://minmin.org/



HPはこちら